

令和5年度 実施事業

公の施設評価シート

1 施設及び指定管理者について

施設名等	施設名		所管課名		
	茨木市文化・子育て複合施設おにクル		共創推進課		
施設所在地	茨木市駅前三丁目9番45号				
指定管理者	共同事業体おにクルみらい	指定期間	令和5年11月1日～令和11年3月31日		
設置目的及び選定理由	茨木市文化・子育て複合施設おにクルは、文化教養、子育て、市民公益活動等の拠点を複合し、各機能の連携を行うことで、人が集い活動が生まれる場を育むことにより、市民一人ひとりが豊かさや幸せを感じられる暮らしの実現に寄与することを目的として設置された施設である。おにクルの指定管理者であるおにクルみらいは、適切な人員配置計画に基づいた安定した運営能力に加え、おにクルが核となって市、市民、指定管理者とがともに本市の文化を育んでいくための施設の運営に対する理解や意欲のほか、施設の運営に携わる市と指定管理者との連携を円滑に進めるための明確なコンセプトに基づいた計画や、施設の効用を最大限に発揮することが期待される実績に裏付けられた文化事業計画などから総合的に勘案し、文化教養、子育て、市民公益活動等の機能を連携させ、市民一人ひとりが豊かさや幸せを感じられる暮らしの実現に寄与することが期待できるとの判断から選定されたものである。				
施設概要	敷地面積	10,500㎡	延床面積	19,715㎡	
	竣工年月	令和5年10月	改修年月		
	主な実施事業	施設及び付帯設備の使用に関する事業 文化芸術事業、プラネタリウム事業 施設・設備等の維持管理事業 その他施設の目的達成のため必要と認める事業			
	主な自主事業				
	部屋・設備	大ホール(1室)、多目的ホール(1室)、プラネタリウム(1室)、会議室(4室)、多目的室等(10室)、和室(1室)、楽屋(7室)、オープンスペース、芝生広場			
	目的外使用備考	カフェ(19.7125㎡)、自動販売機(0.866235㎡:1台) 併設施設:屋内子ども広場、市民活動センター、おにクルぶっくぱーく、子ども支援センター			
運営状況	利用時間	午前9時から午後10時			
	定休日	第2・第4月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日から1月3日			
	年間利用日数	335日			
	備考	令和5年度は、11月26日～3月31日の開館日113日が年間利用日数となる。			
料金等	使用料/利用料金の有無	使用料/利用料金制	指定管理料の支払い		
	有料	利用料金制	有		
第5次総合計画関連取組	章	7	まちづくりを進めるための基盤		
	施策	7	多様な主体による協働のまちづくりを推進する		
	取組	1	協働とパートナーシップによるまちづくりの推進		

2 利用状況について

年間利用数	指標	稼働率の算出	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	現指定管理者		現指定管理者
				実績	実績	実績	令和5年度		令和6年度
							実績	目標	目標
	来館者数	総数 (1日あたり)	人	—	—	—	662,159	—	1,000,000
			稼働率	—	—	—	5,859人	—	—
	大ホールの利用	年間利用日数/年間利用可能日	日	—	—	—	—	—	200
			稼働率	—	—	—	—	—	平日70% 土日75%
	多目的ホールの利用 (12月1日より貸出)	同上 (利用可能日105日)	日	—	—	—	61	—	273
			稼働率	—	—	—	58.1%	—	平日80% 土日85%
	会議室の利用 (会議室4室+和室)	同上	日	—	—	—	108	—	335
			稼働率	—	—	—	92.4%	—	90.0%
	多目的室等の利用 (多目的室等10室)	同上	日	—	—	—	108	—	335
			稼働率	—	—	—	93.4%	—	90.0%
	オープンスペースの利用 (1、7階、屋外、芝生)	同上	日	—	—	—	225	—	335
			稼働率	—	—	—	34.9%	—	30.0%

3.収支状況について

(単位：千円)

	内訳	現指定管理者						現指定管理者	
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
		決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額	
指定管理者	支出	総支出額	0	0	0	201,200	202,737	100.8%	568,400
		人件費				60,100	66,108	110.0%	147,100
		ホール事業費				2,800	3,405	121.6%	78,500
		舞台サービス・維持管理費				38,800	36,354	93.7%	97,100
		臨時舞台人件費				0	2,895		0
		プラネタリウム事業費				4,200	1,680	40.0%	11,800
		ホール・プラネタリウム広報費				2,000	1,234	61.7%	7,000
		全館広報費・印刷製本費				12,000	4,781	39.8%	18,500
		全館・芝生広場イベント費				1,000	784	78.4%	3,000
		維持管理費				58,500	60,162	102.8%	172,500
		維持管理費(修繕費)				2,500	5,394	215.8%	3,500
		維持管理費(消耗品費等)				2,900	2,030	70.0%	6,000
		運営事務費				11,400	12,875	112.9%	23,400
		予備費				5,000	4,941	98.8%	0
		未払消費税				0	94		0
	収入	総収入額	0	0	0	201,200	203,186	101.0%	568,400
		指定管理料				179,000	179,000	100.0%	450,200
		施設利用料				15,000	13,479	89.9%	83,000
事業収入(ホール等)					0	0		30,000	
事業収入(プラネタリウム)					1,900	2,870	151.1%	4,400	
臨時舞台人件費					0	2,895		0	
予備費(収入額)					5,000	5,000	100.0%	0	
予備費(返納額)					0	-58		0	
その他					300	0	0.0%	800	
収入—支出		0	0	0	0	449		0	
自主事業	総支出額				0	0		0	
	総収入額				0	0		0	
	収入—支出	0	0	0	0	0		0	
【全体】収入—支出		0	0	0	0	449		0	
市	内訳	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
		決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額	
	支出	総支出額	0	0	0	295,554	303,676	102.7%	549,836
		備品購入費(ピアノ)				35,425	33,655	95.0%	0
		需用費				10,578	9,161	86.6%	0
		備品購入費				44,208	38,724	87.6%	0
		需用費				25,000	42,327	169.3%	63,078
		役員費				1,343	809	60.2%	2,952
		指定管理料				179,000	179,000	100.0%	483,806
	収入	総収入額	0	0	0	0	0		0

4.利用者ニーズの把握と対応について

①利用者意見の把握状況

現指定管理者	令和5年度				
	アンケート	実施時期	R6.3	回収数/配布数	209 枚
	意見箱・メール	実施時期	R5.12～R6.3	件数	3030 件
	その他	実施時期	R5.12	件数	431 件
	令和4年度				
	アンケート	実施時期		回収数/配布数	枚
	意見箱・メール	実施時期		件数	件
	その他	実施時期		件数	件
	令和3年度				
	アンケート	実施時期		回収数/配布数	枚
	意見箱・メール	実施時期		件数	件
	その他	実施時期		件数	件

②利用者からの主な意見・要望と対応

意見・要望	対応
館内で食事をとれる場所が少ない、わかりづらい。	館内協議(おにクル会議)にて飲食可能エリアを拡大し、HP案内改定を実施した。来館者にはマップを配布して周知を図っていく(R6年4月制作予定)。
当日の館内行事の紹介がなく、わかりづらい。	ホームページ上では希望者の催事情報紹介の運用を開始した。館内サインージュを活用した貸館催事紹介を準備している(R6年度開始)。
西側車寄せに長時間車が停車しており、通行の妨げになっている	長時間停車車両への注意喚起警告文を貼付対応開始した。西側エリアへの案内看板等の作成検討している。
貸室の中の様子がわかるように欲しい(備品、レイアウト、機器使用方法等)。	稼働率が高く、下見対応が難しい場合が多いことから、ホームページに写真を掲出、事前に確認できるよう対応した。機器使用方法は、室内に案内資料を設置した。R6年度に3Dで貸出施設の様子、広さ等紹介サービス導入予定としている。

③アンケート実施結果

おにクルの満足度								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
1	現指定管理者	R5	2318	422	51	13	100%		
			83%	15%	2%	0%	50%		
							0%		
	R4								
	R3								
利用諸室・オープンスペースへの満足度								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
2	現指定管理者	R5	2066	427	90	27	100%		
			79%	16%	3%	1%	50%		
							0%		
	R4								
	R3								
室内設備・貸出機材への満足度								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
3	現指定管理者	R5	2007	404	151	36	100%		
			77%	16%	6%	1%	50%		
							0%		
	R4								
	R3								
職員対応への満足度								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
4	現指定管理者	R5	2152	384	52	19	100%		
			83%	15%	2%	1%	50%		
							0%		
	R4								
	R3								
実施事業の満足度								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
5	現指定管理者	R5	293	113	9	0	100%		
			71%	27%	2%	0%	50%		
							0%		
	R4								
	R3								

おにクル立ち寄りの気楽さ								
	年度	総 回 答 数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移	
			回答数	回答数	回答数	回答数		
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
6	現指定管理者	R5	209	172	34	2	1	
		R4						
		R3						
おにクルの役割(サードプレイス)								
	年度	総 回 答 数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移	
			回答数	回答数	回答数	回答数		
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
7	現指定管理者	R5	209	169	39	1	0	
		R4						
		R3						
偶然の出会いの有無								
	年度	総 回 答 数	よくある	時々ある	あまりない	ない	回答割合推移	
			回答数	回答数	回答数	回答数		
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
8	現指定管理者	R5	209	53	94	35	27	
		R4						
		R3						

5.運営状況について

①施設管理運営状況

S:達成すべき水準を大きく上回った
 A:達成すべき水準を達成した
 B:達成すべき水準を下回った

施設管理について						
1	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	計画書の作成・提出について	必要事項をもれなく記載し、年度計画書を市が指定する日までに、提出する。	自己評価	A	所見	期日までに提出している。
点検時期	市評価		A	所見	適切に対応している。	
毎年5月						
点検方法						
書類確認						
2	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	報告書の作成・提出について	必要事項をもれなく記載し、定期報告書は月末14日以内、事業報告書は年度末30日以内に、市へ提出する。	自己評価	A	所見	期日までに提出している。
点検時期	市評価		A	所見	適切に対応している。	
提出時						
点検方法						
書類確認						
3	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	文書の管理について	収支に関する帳票、記録その他文書について、破棄されることなく、他の業務に関する文書と分けて保存されている。	自己評価	A	所見	電子データおよび紙資料は代表団体であるサントリーパブリシティサービス本社で保管している。
点検時期	市評価		A	所見	適切に保管されている。	
年度末						
点検方法						
書類確認						
4	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	利用許可について	施設設置条例に基づき、適正な利用許可を行う。	自己評価	A	所見	条例、規則に基づき利用許可を実施している。
点検時期	市評価		A	所見	適切に実施している。	
月次						
点検方法						
書類確認						
5	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	会計事務について	利用料金等の会計事務について、適切な処理が行われている。	自己評価	A	所見	適切に実施している。
点検時期	市評価		A	所見	適切に実施している。	
月次						
点検方法						
書類確認						
6	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	人員配置について	仕様及び提案書類で定めるとおりの配置となっている。	自己評価	A	所見	必要に応じて、人員増の対応をしている。
点検時期	市評価		A	所見	適切に対応している。	
月次						
点検方法						
書類確認						
7	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	研修の実施について	仕様で定める接遇研修のほか、提案書類に記載の研修等を実施している。	自己評価	A	所見	開館前の全館研修ほか、休館日等を活用し利用サービス向上に向けた研修を適宜実施している。
点検時期	市評価		A	所見	仕様書に定めた研修が適宜実施されている。	
月次						
点検方法						
書類確認						

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
8	設備の維持管理について	施設及び芝生広場について、仕様で定める維持管理を適切に実施しており、不備が見つかった場合に速やかに対応を行っている。	自己評価	A	所見	常駐管理者による設備運転、日常点検に加え、各種保守点検を行い、日報等にて記載している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	随時					
	点検方法					
現地確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
9	清掃・衛生管理について	美しく衛生的な施設環境を保つため、仕様で定める清掃について適切に実施しており、記録をつけている。	自己評価	A	所見	日常清掃、定期清掃を行い、日報等にて記載している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	四半期ごと					
	点検方法					
書類確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
10	第三者への業務委託について	第三者への委託について、市の承認を得ているとともに、業者選考は、経費節減やサービス向上に配慮した方法で選考されている。	自己評価	A	所見	維持管理業務での保守点検先を中心に委託先の承認申請書を提出した上で、業務を実施している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	四半期ごと					
	点検方法					
書類確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
11	警備体制について	仕様及び提案書類の定めに従い、利用時間帯には警備員を常駐させて巡回を行うほか、施設の開錠・施錠を確認するとともに、業務終了後には施錠確認を記録する。	自己評価	A	所見	適切に対応している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	四半期ごと					
	点検方法					
現地確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
12	緊急時対策、安全管理について①	緊急時対策に関するマニュアル及び緊急時連絡網を整備し、職員周知の取組を行っている。	自己評価	A	所見	消防計画書に大雨強風、事故等への対応も記載している。また、館内緊急連絡網作成している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	四半期ごと					
	点検方法					
書類確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
13	緊急時対策、安全管理について②	緊急時の対応に関する訓練を実施している。	自己評価	A	所見	R6.3に防災訓練を実施している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に実施している。
	四半期ごと					
	点検方法					
書類確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
14	備品の管理について	備品台帳を整備しており、備品の状況を明確に示している。	自己評価	A	所見	適切に対応している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	四半期ごと					
	点検方法					
書類確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
15	関係法令の順守について	関係法令等を遵守している。	自己評価	A	所見	遵守している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	随時					
	点検方法					
現地確認						

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
16	労働関係法令の遵守について	労働関係法令セルフチェックシートの該当箇所について、全て満たしている。また、再委託をしている場合には、再委託先の労働関係法令の遵守を確認している。	自己評価	A	所見	適切に対応している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	年度末					
	点検方法					
	ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
17	前指定管理期間時からの継続雇用について	継続雇用された者が、不当な理由等で解雇されず、引続き雇用されている。	自己評価	A	所見	初年度につき該当なし
	点検時期		市評価	A	所見	
	年度末					
	点検方法					
	書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
18	就職困難者の雇用について	選定時に報告があった以上の雇用数を維持しているとともに、障害者雇用については、法定雇用率を遵守している。	自己評価	A	所見	代表団体、構成団体ともに法定雇用率を上回っている。代表団体で障がい者1名現地雇用している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に対応している。
	年度末					
	点検方法					
	書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
19	個人情報の保護について①	利用者個人情報を保護するための、施錠やセキュリティに関する取組が実施されている。	自己評価	A	所見	適切に実施している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に実施している。
	四半期ごと					
	点検方法					
	現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
20	個人情報の保護について②	個人情報取扱指針等の整備がされており、内容について職員へ周知が図っている。	自己評価	A	所見	適切に実施している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に実施している。
	四半期ごと					
	点検方法					
	現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
21	人権尊重について	団体における人権尊重の考え方について、施設において特に配慮すべき人権について、職員が理解し、適切な対応が行われている。	自己評価	A	所見	開館前に研修を行い、適切に対応している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に実施している。
	四半期ごと					
	点検方法					
	ヒアリング					

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
22	環境への配慮について	環境物品の調達及び利用者への環境啓発の実績がある。	自己評価	A	所見	適切に実施している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に実施している。
	四半期ごと					
	点検方法					
書類確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
23	館内連携について	館内各機能の連携を十分に図るため、組織と組織や人と人をつなぐために必要な取り組みが行われている。	自己評価	A	所見	関係課やその他指定管理者を交えた会議を開催し、情報共有を行っている。全館カレンダーの導入・運用開始。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に実施している。
	四半期ごと					
	点検方法					
書類確認						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
24	さまざまな主体との共創について	「育てる広場」の実現に向け、さまざまな主体と連携し、共創するための取り組みが行われている。	自己評価	A	所見	市民主体のオープニング実行委員会と連携し、開館記念イベントを実施。貸館利用に伴うコーディネートを含めた打合せを開始している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に実施している。
	四半期ごと					
	点検方法					
ヒアリング						
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
25	広報について	おにクルのブランディングに向け、さまざまな媒体を活用した積極的な情報発信が行われている。	自己評価	A	所見	HP、SNSに加え、広報誌、封筒等の作成、メディアへの取材対応実施している。
	点検時期		市評価	A	所見	適切に実施している。
	四半期ごと					
	点検方法					
書類確認						

②指定管理事業・自主事業等の評価

指標	仕様書、計画書等で定める実施内容(達成すべき水準)	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)				
指定管理事業	全館管理に係る事業	各施設機能間の連携に係る企画支援、調整、マネジメントを行うとともに、「育てる広場」の実現に向け、市民参加や市民との連携、協働に努める。	自己評価	A	所見	「全館カンファレンス」「ステアリングコミッティ」等を毎月開催。おにクル全館運営を所管課と共に調整・牽引できる体制を構築。各ユニット本格開催に向けた準備に着手。「育てる広場」実現に向けた取組はR6年度より本格化予定。
		市評価	S	所見	管理運営に関する意思決定や各機能の情報共有の場が構築されることで、複合施設としての適切な運営が図られている。また、適宜管理運営に関する研修を実施することで健全なガバナンスが保たれております。	
指定管理事業	施設及び芝生広場の使用に係る業務	施設及び芝生広場の貸出、各種問い合わせや来館者への対応、下見等での情報提供や利用相談対応を行う。	自己評価	A	所見	施設貸出に伴う許可、使用料收受、貸出対応を実施。HP掲載や配布資料、室内掲示など開館以降順次拡充・改善を重ねながら利用者案内体制を整備。ホール下見会(3回)、図面・舞台機器情報等を順次整備。
			市評価	A	所見	適切に対応している。
指定管理事業	施設及び設備等の維持管理業務	施設を安全で快適かつ衛生的に保ち、良好な利用環境を保持するとともに、環境への配慮やランニングコストの削減に努めるなど、合理的で効率的な維持管理を行う。	自己評価	A	所見	仕様書に基づく業務実施を基本に、各機能の運営状況に合わせ扉の開閉錠、機器運転、清掃内容等を調整し実施。舞台設備拡充、芝生電源増設や駐輪場誘導、落下物防止ネットなど今後の施設利用環境向上につながる整備を実施。
			市評価	A	所見	適切に対応している。

自主事業	基本方針に基づいたホール等運営に係る自主事業の実施	人と人、人と文化をつなぎ、市民の文化を『あみだす』、そして、劇場(ホール)だけでなく、施設、広場、まちに『はみだす』、この2つをコンセプトに事業を展開する。	自己評価	A	所見	ピアノ弾込、お試し利用視聴公演実施(R5実施事項)。グランドオープンシリーズ制作業務、告知・券売開始。広報誌発行、チケットシステム導入、無料会員制度(7千名強入会)、キャッシュレス販売等、自主事業運営の基盤を構築。
			市評価	A	所見	適切に実施している。
	基本方針に基づいたプラネタリウム運営に係る自主事業の実施	「楽しんで、遊んでいるうちに、科学の知識が身につく」をコンセプトに、市民の教養を高めるとともに、憩いを提供する“場”の創造をめざした事業を展開する。	自己評価	A	所見	券売機を設置し、キャッシュレス対応の上営業開始。オリジナル番組を制作・投影し、5か月で1万人強が観覧。普及事業(8回182名)自主事業(12回553名)を実施。利用案内、広報誌を発行し事業内容周知を図った。
			市評価	A	所見	適切に実施している。
	機能間連携及び市民連携事業の実施	施設内各機能間の連携事業のほか、市内既存施設や市民と連携した事業など、さまざまな事業を企画し、実施する。	自己評価	A	所見	開館記念事業をオープニング実行委と協力し開催。シブスキャット企画での館内連携推進、将棋フェスティバルのオープンスペース開催支援などを実施。企画連携ユニット、共創ラボをR6年度早期開始し、各種連携事業の推進が可能となる体制を構築したい。
			市評価	A	所見	適切に実施している。
指標	仕様書、計画書等で定める実施内容(達成すべき水準)	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)				
その他提案内容等	施設稼働率目標の達成に向けた取り組みの実施	事業計画書において設定した施設稼働率目標の達成に向けた取り組みを行う。	自己評価	A	所見	多目的ホール(利用率58%)は今後の利用促進が必要。諸室は利用率90%超、特に3F各室が好調。7Fは余地あり。オープンスペースも週末中心に当初想定を上回る利用。
			市評価	A	所見	適切に実施している。
	市民活動のコーディネートの実施	共創推進課や市民活動センターのコーディネーターと協力し、市民の「やりたい」の実現に向けたアドバイスをコーディネートを行う。	自己評価	A	所見	所管課、きゃばすコーディネーターと連携した対応は着手段階であり、早期に軌道にのせたい。スペースに適した催事内容の模索や、空間環境、安全面への配慮を踏まえた設営手法の周知へ実績蓄積の上、次年度に活かしたい。
			市評価	A	所見	適切に実施している。
	芝生に重点を置いた植栽管理	芝生の養生等を中心とした効果的で効率的な植栽管理を行う。	自己評価	A	所見	定期的な水やり及び2、3月に芝生、施設植栽管理実施。芝の休眠期に開館。春期に目土散布実施。来館者も多いことから痛みの激しい部分を把握し、R6年度のメンテナンス強化を図っていく予定。
			市評価	A	所見	適切に実施している。

6.全体評価

※を除き、4段階評価[S:特に優秀 A:良好 B:軽微な課題あり C:重大な問題あり]

評価項目		評価・所見				
個別評価	利用状況について	自己評価	A	所見	施設来館者(66.2万人)は目標(30万人)を大きく超えており、日々活況のある館内を大きな事故なく維持できている。今後、継続的に年間来館者100万人超を受け入れ、地域の中でなくてはならない施設として存在したい。各種貸出施設の利用においても、諸室は90%を超える利用率。ホールの利用促進を重点的に展開していきたい。プラネタリウムも約4か月強で観覧者1万人(年1.3万人計画)と好調。	
		市評価	S	所見	開館前からプレ事業の実施し、市民の期待感や気運の醸成を行い、開館記念イベント当日は、館内は施設のお披露目をベースに芝生広場等では市民の実行委員会による企画を実施したところ約15,000人が来場された。開館後、週末の貸館イベント時だけでなく、平日の日常利用でも想定を超える市民の利用があり、市民のサードプレイスとしての役割を果たしている。貸館の利用率も高く、市民の活動の場としての機能も果たしている。また、プラネタリウムも個人から団体利用まで幅広く利用いただけている。	
	収支状況について ※A~C:3段階評価	自己評価	A	所見	開館後の施設状況を踏まえ、駐輪場混雑に伴う誘導員配置や、来館者の安全確保、今後の利便性向上に向けた施設整備、物品整備等を指定管理料全体の執行状況を見ながら予算を弾力的に執行し、収支管理を行った。今後に向けて広報費、事業費等を計画的かつ柔軟に活用し、おにクルの利用促進及び「育てる広場」の実現に資する取組を更に活発に展開していきたい。	
		市評価	A	所見	想定を超える来館者に対する駐輪場整理業務対応やテラスの落下防止柵の設置等のため、予算額よりも増額となったが、駐輪場整理業務対応については、来館者数の推移を考慮して対応しており、全体としては概ね予算の範囲内で執行している。	
	利用者ニーズの把握と対応について	自己評価	A	所見	貸出施設利用者および、来館者アンケートを実施。頂いた声も参考に、施設貸出の早期安定化、共用部利用サービス向上に向け、物品・ツール拡充や日々の朝礼、休館日研修などを通じて改善、向上を図った。数値指標(アンケート結果参照)からも、おにクル居心地の良さ・満足度、貸出施設、スタッフ対応の満足度は高いが、貸出施設利用、備品利用等の改善を期待する声も一定数頂いており、今後さらに充実を進める。	
		市評価	A	所見	来館者及び施設利用者に対して、アンケートを実施している。来館者へのアンケートとしては、サードプレイスとしての満足度など定量的な項目として概ね高い評価を得ている。また、施設利用者に対するアンケートとして、施設利用に対する数値的な満足度や活動のしやすさなど数値化できないものを自由記述として取りまとめている。利用者意見やニーズの把握をしながら、利用者が使いやすい手法を取り入れている。	
	運営状況について	施設管理運営状況 ※A~C:3段階評価	自己評価	A	所見	基本協定および業務仕様書の内容に基づく各種業務および、開館後の館内運営基盤の構築、次年度以降の活動推進を念頭においた取組などを概ね計画通りに実施することができた。
			市評価	A	所見	来館者の状況に応じて、人員の配置等を整備することで、利用者の安全性・利便性の確保がなされており、基本協定及び業務仕様書に基づいた適切な管理運営がなされている。
		指定管理事業・自主事業等の評価	自己評価	A	所見	ホールグランドオープンを控え初年度各種事業を着実に実施、プラネタリウム業務での各事業を安定的に実施するなど、概ね計画通りに実施することができた。
			市評価	A	所見	試聴公演や市民によるフルコンサートピアノ弾き込み等を実施し、次年度の大ホールグランドオープンシリーズに向けた準備を行った。

6.全体評価

※を除き、4段階評価[S:特に優秀 A:良好 B:軽微な課題あり C:重大な問題あり]

評価項目	評価・所見		
総合評価 (施設設置目的の総合的な達成度)	自己評価	A	<p>竣工、施設引渡しから1ヵ月弱でのタイトな準備期間であったが、所管課はじめ関係各者と協力体制を構築し、開館記念日は事故・混乱なく1.5万人を受け入れ、おにクル運営をスタート。複合施設かつ直営、他指定管理者といった多様な運営主体との関係強化を意識し、運営指針の策定や会議体運営など全館運営体制の基盤構築を進め、次年度以降のおにクル運営のベースづくりを進めた。</p> <p>次年度のホールグランドオープンを控えたホール事業、旧天文観覧室から移転拡充したプラネタリウム事業においても計画に基づき初年度実施事業を実施することができた。館内施設の維持管理においても想定を超える駐輪場混雑やテラスの安全対策など、開館後の運営状況を踏まえて対応を行い整備・改善にあたった。</p> <p>次年度以降は貸館運営体制の更なる整備、利便性向上、コーディネーターとの連携強化や、市民の運営参画の仕組みづくりと企画の展開など、おにクルの運営目標である「育てる広場」を具現化させる取組を所管課はじめ館内関係者と共に本格化させていきたい。</p>
	市評価	A	<p>開館前から関連課を含めて全体会議等で情報共有を行い、スムーズな運営体制の構築を進めた。また、おにクル×文化など機能間でコラボしたおにクルの特徴を意識したプレ事業を展開しながら、開館までの気運の醸成を図った。開館記念イベントでは、館外では主に市民の実行委員会と連携した企画と館内ではおにクルのお披露目を意識した企画を行い、市民が集い活動する場であることを市民にアピールすることができた。</p> <p>多様な運営主体が存在するおにクルを統括するおにクル会議を行政と協力しながら、全体の情報共有や意思決定の場、それらに紐づく形で企画系や広報系、今後のおにクルのルールづくり等や管理系のユニットの会議体を組織し、機能間や今後共創に関わる主体との連携を意識することで複合施設としての適切な運営が図られている。</p> <p>日常的なサードプレイスとしての場の提供や市民会館跡地エリア活用のコンセプトである「育てる広場」の実現のため貸館利用(特にオープンスペース)の事前協議から利用までの体制を構築、来館者と貸館利用者が場所をシェアしながらこぢい空間づくりを行い、市民が豊かさや幸せを感じられる設置目的に合致した運営がなされている。</p>

令和5年度 実施事業

公の施設評価シート

1 施設及び指定管理者について

施設名等	施設名		所管課名	
		福祉文化会館		文化振興課
施設所在地	茨木市駅前四丁目7番55号			
指定管理者	(公財)茨木市文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年5月31日	
設置目的及び選定理由	事業運営においては、舞台芸術に関する実績とノウハウを活かすことで、利用者への適切なアドバイス、さらに文化情報の発信や館を利用した文化事業の推進が可能となり、施設の文化振興の拠点としての機能が一層高められることから、社会福祉及び文化教養の充実に向上を図り、もって市民の福祉の増進に寄与するため。			
施設概要	敷地面積	1751 m ²	延床面積	6940 m ²
	竣工年月	昭和56年5月31日	改修年月	-
	主な実施事業	施設及び附帯設備の使用に関する事業 施設・設備等の維持管理事業 その他施設の目的達成のため必要と認める事業		
	主な自主事業	拠点施設における舞台芸術公演事業 芸術、芸術活動への興味と理解を深めるための学習・体験事業 芸術文化に関する情報の収集及び提供事業		
	部屋・設備	文化ホール(1室)、会議室(8室)、楽屋(1室)		
	目的外使用 備考	自動販売機設置(2.65m ² 4台) 併設施設:水道部事務室、茨木市社会福祉協議会事務室、ボランティアセンター、更生保護サポートセンター、母子福祉会売店		
運営状況	利用時間	午前9時から午後10時まで		
	定休日	12/29から1/3まで		
	年間利用日数	356日		
	備考	エレベーターの不具合による利用停止(令和5年7月～12月下旬)		
料金等	使用料/利用料金の有無		使用料/利用料金制	指定管理料の支払い
	有料		利用料金制	有
第5次 総合計画 関連取組	章	3	みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち	
	施策	3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する	
	取組	2	文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり	

2 利用状況について

指標	稼働率の算出	単位	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者		現指定管理者
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		R6年度
			実績	実績	実績	実績	目標	目標
文化ホールの利用	年間利用日数/年間利用可能日	利用日数	109	172	213	198	215	30
		稼働率	39.4%	62.3%	63.8%	59.8%	70.5%	52.0%
各会議室の利用(8室)	同上	利用日数	1,688	1,891	2,256	2,110	2,069	340
		稼働率	72.3%	76.9%	79.7%	76.4%	78.6%	70.0%
年間利用数		稼働率						
		稼働率						
年間利用数		稼働率						
		稼働率						

3.収支状況について ※市民総合センターとの合算

(単位：千円)

内訳	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者			現指定管理者		
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度		
	決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額		
指定管理業務	総支出額	228,639	229,047	255,885	228,830	240,465	105.1%	198,884	
	委託費	105,785	107,989	110,545	116,211	112,086	96.5%	85,965	
	光熱水費	37,466	40,818	66,808	41,630	56,260	135.1%	46,950	
	給与手当	23,860	26,540	31,630	34,751	28,992	83.4%	28,177	
	修繕費	18,282	14,282	10,838	5,500	10,631	193.3%	6,980	
	手数料	8,255	7,149	6,102	6,417	6,888	107.3%	7,156	
	租税公課	9,150	8,749	8,513	3,960	8,763	221.3%	8,819	
	減価償却費	3,029	3,829	1,358	1,404	1,432	102.0%	1,522	
	賃金	9,696	6,440	4,363	3,689	2,887	78.3%	675	
	福利厚生費	5,575	6,177	6,341	6,887	5,599	81.3%	5,599	
	消耗品費	1,629	2,167	3,515	2,002	1,456	72.7%	1,676	
	賞与引当金繰入額	1,918	1,983	2,230	2,425	2,200	90.7%	2,043	
	賃借料	861	819	1,290	1,377	1,246	90.5%	1,009	
	退職給付費用	1,069	938	1,063	1,152	925	80.3%	1,218	
	消耗什器備品費	975	76	256	110	0	0.0%	110	
	その他	1,089	1,091	1,033	1,315	1,100	83.7%	985	
	収入	総収入額	229,973	224,143	247,255	227,830	234,265	102.8%	197,884
指定管理料	190,140	190,140	190,140	191,596	191,596	100.0%	175,150		
利用料収入	25,167	31,373	41,511	36,000	35,395	98.3%	22,600		
〔うち、福祉文化会館〕	[13,481]	[16,656]	[20,024]	[18,000]	[16,203]		[2,600]		
〔うち、市民総合センター〕	[11,686]	[14,717]	[21,487]	[18,000]	[19,192]		[20,000]		
雑収入等	416	703	604	234	274	117.1%	134		
補償金	14,250	1,927	15,000	0	7,000		0		
収入—支出	1,334	▲ 4,904	▲ 8,630	▲ 1,000	▲ 6,200	620.0%	▲ 1,000		
自主事業	総支出額	64,990	89,775	88,194	88,466	104,473	118.1%	106,164	
	総収入額	66,131	88,483	91,932	88,066	107,697	122.3%	106,164	
	収入—支出	1,141	▲ 1,292	3,738	▲ 400	3,224	-806.0%	0	
【全体】収入—支出	2,475	▲ 6,196	▲ 4,892	▲ 1,400	▲ 2,976	212.6%	▲ 1,000		
市	内訳	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
		決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額	
	支出	総支出額	256,675	255,637	270,125	259,464	264,078	101.8%	246,597
		指定管理料	190,140	190,140	190,140	191,596	191,596	100.0%	175,150
		補助金 (※総務管理費除く)	52,285	63,570	64,985	67,868	65,482	96.5%	71,447
		補償金	14,250	1,927	15,000	0	7,000		0
	収入	総収入額	1,469	1,526	954	954	954	100.0%	940
		目的外使用料	1,469	1,526	954	954	954	100.0%	940
		〔うち、福祉文化会館〕	[27]	[27]	[27]	[27]	[27]		[13]
		〔うち、市民総合センター〕	[1442]	[1499]	[927]	[927]	[927]		[927]

4.利用者ニーズの把握と対応について

①利用者意見の把握状況

現指定管理者	R5年度				
	アンケート	実施時期	R5.4.1～R6.3.31	回収数/配布数	768/768 枚
	意見箱・メール	実施時期	R5.4.1～R6.3.31	件数	768(配布、意見箱合計) 件
	その他	実施時期	-	件数	- 件
現指定管理者	R4年度				
	アンケート	実施時期	R4.4.1～R5.3.31	回収数/配布数	771/771 枚
	意見箱・メール	実施時期	R4.4.1～R5.3.31	件数	771(配布、意見箱合計) 件
	その他	実施時期	-	件数	- 件
現指定管理者	R3年度				
	アンケート	実施時期	R3.4.1～R4.3.31	回収数/配布数	887/887 枚
	意見箱・メール	実施時期	R3.4.1～R4.3.31	件数	887(配布、意見箱合計) 件
	その他	実施時期	-	件数	- 件

②利用者からの主な意見・要望と対応

意見・要望	対応
DVDを借りていますが接続が悪く使えないことが時々あり、限られた時間内でのトラブル対応は大変なのでよろしくお願ひいたします。	現状機器の状態には問題はなくお持ち込みのDVDによるものであるため、丁寧にご案内を行っております。万一故障による不具合が発生した際にはすぐに修繕を行います。
時間貸しになり鍵をもらえる時間がギリギリになり困った。	スムーズにご利用いただける方法等について、対応を検討して参ります。
エレベーターの修理を1日も早くお願いします。	12/27に1台の機器更新を実施しました。
会議室(202)の扉建付け不具合で開閉時に大きな音が出る。修理していただくと幸いです。	修繕の実施に時間を要する箇所であるため、貼紙対応を行い注意喚起を行いました。

③アンケート実施結果

室内の広さや清掃状況について								
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移	
			回答数	回答数	回答数	回答数		
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
1	現指定管理者	R5	766	621	130	13	2	
				81%	17%	2%	0%	
	現指定管理者	R4	769	613	136	19	1	
				80%	18%	2%	0%	
2	現指定管理者	R5	765	614	131	18	2	
				80%	17%	2%	0%	
	現指定管理者	R4	770	594	142	31	3	
				77%	18%	4%	0%	
3	現指定管理者	R5	766	605	126	31	4	
				79%	16%	4%	1%	
	現指定管理者	R4	770	579	153	34	4	
				75%	20%	4%	1%	
4	現指定管理者	R5	766	638	109	17	2	
				83%	14%	2%	0%	
	現指定管理者	R4	770	620	123	22	5	
				81%	16%	3%	1%	
5	現指定管理者	R5	766	595	146	21	4	
				78%	19%	3%	1%	
	現指定管理者	R4	770	590	154	24	2	
				77%	20%	3%	0%	
5	現指定管理者	R3	875	681	184	9	1	
				78%	21%	1%	0%	

5.運営状況について

①施設管理運営状況

S:達成すべき水準を大きく上回った
 A:達成すべき水準を達成した
 B:達成すべき水準を下回った

施設管理について							
1	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)				
	計画書の作成・提出について	必要事項をもれなく記載し、年度計画書を10月末日までに、市へ提出する。	自己評価	A	所見		
点検時期	市評価		A	所見			
毎年11月							
点検方法 書類確認							
2	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)				
	報告書の作成・提出について	必要事項をもれなく記載し、定期報告書は月末20日以内、事業報告書は年度末60日以内に、市へ提出する。	自己評価	A	所見		
点検時期	市評価		A	所見			
月次・年度末							
点検方法 書類確認							
3	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)				
	文書の管理について	収支に関する帳票、記録その他文書について、破棄されることなく、他の業務に関する文書と分けて保存されている。	自己評価	A	所見		
点検時期	市評価		A	所見			
四半期ごと							
点検方法 現地確認							
4	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)				
	利用許可について	施設設置条例に基づき、適切な料金区分の適用など、適正な利用許可を行う。	自己評価	A	所見		
点検時期	市評価		A	所見			
月次							
点検方法 書類確認							
5	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)				
	会計事務について	利用料金等の会計事務について、透明性を確保し、適切な処理が行われている。	自己評価	A	所見		
点検時期	市評価		A	所見			
月次							
点検方法 書類確認							
6	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)				
	人員配置について	仕様及び提案内容で定めるとおりの配置となっている。	自己評価	A	所見		
点検時期	市評価		A	所見			
月次							
点検方法 書類確認							

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
7	研修の実施について	人権研修及び窓口対応研修を受講させる。中途採用の職員へは、個別に研修を行う。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	年度末				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
8	設備の維持管理について	舞台装置など設備の保守点検を定期的に行うなど、仕様で定める維持管理について適切に実施しており、不備が見つかった場合に速やかに対応を行っている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	随時				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
9	清掃・衛生管理について	衛生面の維持管理のため適切に清掃を行うなど、仕様で定める清掃について適切に実施しており、記録をつけている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
10	第三者への業務委託について	第三者への委託について、市の承認を得ているとともに、業者選考は、経費節減やサービス向上に配慮した方法で選考されている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
11	警備体制について	利用時間帯には警備員を常駐させ、巡回を行い、また施設の開錠・施錠を確認しに、業務終了後には施錠確認を記録する。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
12	緊急時対策、安全管理について①	緊急時対策に関するマニュアル及び緊急時連絡網を整備し、職員周知の取組を行っている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
13	緊急時対策、安全管理について②	緊急時の対応に関する訓練を実施している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
14	備品の管理について	備品台帳を整備しており、備品の状況を明確に示している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	B	所見 既に廃棄した備品について、反映がされていないものがあった。
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
15	関係法令の順守について	市関係条例等を遵守している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	随時				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
16	労働関係法令の遵守について	労働関係法令セルフチェックシートの該当箇所について、全て満たしている。また、再委託をしている場合には再委託先の労働関係法令の順守を確認している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	年度末				
	点検方法				
ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
17	前指定管理期間からの継続雇用について	継続雇用された者が、不当な理由等で解雇されず、引続き雇用されている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	年度末				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
18	就職困難者の雇用について	選定時に報告があった以上の雇用数を維持しているとともに、障害者雇用については、法定雇用率を遵守している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	年度末				
	点検方法				
書類確認					

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
19	個人情報の保護について①	利用者個人情報を保護するための、施錠やセキュリティに関する取組が実施されている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
20	個人情報の保護について②	個人情報取扱指針等の整備がされており、内容について職員へ周知が図り、適切に取扱われている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
21	人権尊重について	団体における人権尊重の考え方について、施設において特に配慮すべき人権について、職員が理解し、適切な対応が行われている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
22	環境への配慮について	環境物品の調達及び利用者への環境啓発の実績がある。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
23	業務進捗状況の協議について	施設の利用状況等、業務の実施状況について、協議を行う。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
24	市民ニーズの把握について	アンケートや窓口等での意見を集約し、今後の施設管理に活用する。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	随時				
	点検方法				
ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
25	周知について	施設の利用促進のため、ホームページやSNSを活用を積極的に推進する。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	随時				
	点検方法				
その他					

②指定管理事業・自主事業等の評価

指標		仕様書、計画書等で定める実施内容 (達成すべき水準)	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
指定管理事業	施設及び附属設備の使用に関する事業	施設及び附属設備使用の受付、許可は、公の施設としての公平性、公益性に配慮しつつ行う。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	施設・設備等の維持管理事業	施設を適切に運営するために、日常的に施設の点検等を行うとともに、建築物、設備、備品等の不具合を発見した際には、速やかに市に報告を行う。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	その他施設の管理運営に関する事業	館内サービスの向上や危機管理体制の整備等、その他施設の管理運営に関する事業の実施に努める。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
自主事業	拠点施設における舞台芸術公演事業	質の高い芸術を創造・発信するとともに、地域の芸術文化活動と協働することにより、身近に芸術文化に触れ、享受できる鑑賞機会を提供する。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	芸術、芸術活動への興味と理解を深めるための学習・体験事業	講座、講習会等、自ら表現活動に参加し、またそのきっかけづくりとなるような学習や体験を重視した事業を開発し、実施する。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	芸術文化に関する情報の収集及び提供事業	芸術文化に関する情報や地域の芸術文化活動に関する情報を収集し、紙媒体での配付やSNS等を通じて情報発信に努める。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
指標		仕様書、計画書等で定める実施内容 (達成すべき水準)	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
その他提案内容等	市民サービスの向上	市民サービスの向上につながる業務を創意工夫して行い、利用者満足度の向上に努める。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	感染症対策について	「3密」の回避(密集、密接、密閉)など「新しい生活様式」を取り入れた管理運営を行う。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	-	-	自己評価		所見	
			市評価		所見	
-	-	自己評価		所見		
		市評価		所見		

6.全体評価

※を除き、4段階評価[S:特に優秀 A:良好 B:軽微な課題あり C:重大な問題あり]

評価項目		評価・所見				
個別評価	利用状況について	自己評価	A	所見	新型コロナウイルス感染症も5類に移行し貸室利用の増加が見込まれたが、エレベータの故障による影響等から特に5Fホールの利用取消、2・3F会議室の利用控えが生じ目標とした数値には届かなかった。	
		市評価	A	所見	直近の状況から対面のやり取りが増えたこともあり、利用増加が見込んだものの、エレベータの故障や近隣の新施設開館による影響等もあり、昨年度と比較して減となった。	
	収支状況について ※A～C:3段階評価	自己評価	A	所見	光熱水費高騰による、当初想定になかった費用計上が生じ厳しい運営状況となったが、補助金・補償金等による補助や各経費の見直し圧縮により対応することができた。	
		市評価	A	所見	光熱水費高騰が大きく影響し、想定以上の経費が生じたものの、経費削減の取組や補助金の活用等により大きな破綻なく経営を継続していた。	
	利用者ニーズの把握と対応について	自己評価	A	所見	主にアンケートであるが窓口で直接伺うことも多くあり、利用者に親しみをもってもらっていると感じる。貸室終了日が決まっているため必要最小限のみの対応としている。	
		市評価	A	所見	令和6年5月の貸館業務の終了を見据えていることもあり、高額な修繕等について対応が困難な部分はあるものの、利用者からの好意的な反応があることから適切な対応ができているものと思われる。	
	運営状況について	施設管理運営状況 ※A～C:3段階評価	自己評価	A	所見	協定書に基づき適正な管理運営を行っている。
			市評価	A	所見	概ね適正に管理運営を行っていた。
		指定管理事業・自主事業等の評価	自己評価	A	所見	自主事業については、地域の舞台芸術団体等の協働の取り組みを重ねた。
			市評価	A	所見	施設の運営については概ね安定しており、自主事業についても施設内にとどまらず他の会場も活用するなど積極的な姿勢が見受けられた。

6.全体評価

※を除き、4段階評価[S:特に優秀 A:良好 B:軽微な課題あり C:重大な問題あり]

評価項目	評価・所見		
総合評価 (施設設置目的の総合的な達成度)	自己評価	A	所見 新型コロナウイルス感染症が5類に移行しさらなる利用増加が始まっていたが、7月末にエレベータが2基共故障し12月に1基稼働するまで取消や利用控えがあったため、収入の減少となった。光熱水料費においては、利用の落ち込みもあり使用量が微減し費用は圧縮された。
	市評価	A	所見 昨年に引き続き、光熱水費高騰の影響は大きなものとなったが、その中でも経費圧縮に努め、補助金の活用等も行うことで経営への影響を最低限にとどめた。運営については昨年に引き続き安定しており、利用者の反応も好意的なものが多数となっている。また、公演開催に支障がなくなった状況を契機として、自主事業についても開催していた。これらの結果を踏まえ総合的に問題のない運営ができていたものとし、この評価とした。

令和5年度 実施事業

公の施設評価シート

1 施設及び指定管理者について

施設名等	施設名		所管課名		
		市民総合センター		文化振興課	
施設所在地	茨木市駅前四丁目6番16号				
指定管理者	(公財)茨木市文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
設置目的及び選定理由	事業運営においては、舞台芸術に関する実績とノウハウを活かすことで、利用者への適切なアドバイス、さらに文化情報の発信や館を利用した文化事業の推進が可能となり、施設の文化振興の拠点としての機能が一層高められることから、労働及び消費生活に関する活動を増進し、市民福祉の向上に資するため。				
施設概要	敷地面積	3805 m ²	延床面積	10615 m ²	
	竣工年月	平成元年10月16日	改修年月	-	
	主な実施事業	施設及び附帯設備の使用に関する事業 施設・設備等の維持管理事業 その他施設の目的達成のため必要と認める事業			
	主な自主事業	拠点施設における舞台芸術公演事業 芸術、芸術活動への興味と理解を深めるための学習・体験事業 芸術文化に関する情報の収集及び提供事業			
	部屋・設備	センターホール(1室)、多目的ホール(1室)、会議室等(11室、令和6年3月から13室)、和室(1室)、楽屋(2室)、控室(1室)			
	目的外使用備考	自動販売機設置(1.068m ² :2台) 併設施設:教育センター事務室、消費生活センター事務室(9月まで)、市民活動センター(10月まで)			
運営状況	利用時間	午前9時から午後10時まで			
	定休日	12/29から1/3まで			
	年間利用日数	356日			
	備考	内装及び外壁の改修工事のため、センターホール及び一部会議室の利用者への貸出を一時中止(9/1～3/31のうち各工事施工日)			
料金等	使用料/利用料金の有無	使用料/利用料金制	指定管理料の支払い		
	有料	利用料金制	有		
第5次総合計画関連取組	章	3	みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち		
	施策	3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する		
	取組	2	文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり		

2 利用状況について

指標	稼働率の算出	単位	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者		新指定管理者
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		R6年度
			実績	実績	実績	実績	目標	目標
センターホールの利用	年間利用日数/年間利用可能日	利用日数	131	170	232	227	209	222
		稼働率	53.9%	69.7%	76.6%	68.5%	70.4%	75.0%
多目的ホールの利用	同上	利用日数	142	158	197	200	179	192
		稼働率	52.8%	55.6%	60.4%	59.1%	57.0%	64.8%
各会議室の利用(15室、平成28年度以降12室、令和6年3月からは14室)	同上	利用日数	2,223	2,401	2,899	2,856	2,430	3,180
		稼働率	62.6%	67.0%	70.5%	66.8%	64.4%	75.0%
		稼働率						
		稼働率						
		稼働率						

3.収支状況について ※福祉文化会館との合算

(単位：千円)

内訳	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者			新指定管理者		
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度		
	決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額		
指定管理業務	総支出額	228,639	229,047	255,885	228,830	240,465	105.1%	198,884	
	委託費	105,785	107,989	110,545	116,211	112,086	96.5%	85,965	
	光熱水費	37,466	40,818	66,808	41,630	56,260	135.1%	46,950	
	給与手当	23,860	26,540	31,630	34,751	28,992	83.4%	28,177	
	修繕費	18,282	14,282	10,838	5,500	10,631	193.3%	6,980	
	手数料	8,255	7,149	6,102	6,417	6,888	107.3%	7,156	
	租税公課	9,150	8,749	8,513	3,960	8,763	221.3%	8,819	
	減価償却費	3,029	3,829	1,358	1,404	1,432	102.0%	1,522	
	賃金	9,696	6,440	4,363	3,689	2,887	78.3%	675	
	福利厚生費	5,575	6,177	6,341	6,887	5,599	81.3%	5,599	
	消耗品費	1,629	2,167	3,515	2,002	1,456	72.7%	1,676	
	賞与引当金繰入額	1,918	1,983	2,230	2,425	2,200	90.7%	2,043	
	賃借料	861	819	1,290	1,377	1,246	90.5%	1,009	
	退職給付費用	1,069	938	1,063	1,152	925	80.3%	1,218	
	消耗什器備品費	975	76	256	110	0	0.0%	110	
	その他	1,089	1,091	1,033	1,315	1,100	83.7%	985	
	収入	総収入額	229,973	224,143	247,255	227,830	234,265	102.8%	197,884
指定管理料	190,140	190,140	190,140	191,596	191,596	100.0%	175,150		
利用料収入	25,167	31,373	41,511	36,000	35,395	98.3%	22,600		
〔うち、福祉文化会館〕	[13,481]	[16,656]	[20,024]	[18,000]	[16,203]		[2,600]		
〔うち、市民総合センター〕	[11,686]	[14,717]	[21,487]	[18,000]	[19,192]		[20,000]		
雑収入等	416	703	604	234	274	117.1%	134		
補償金	14,250	1,927	15,000	0	7,000		0		
収入—支出	1,334	▲ 4,904	▲ 8,630	▲ 1,000	▲ 6,200	620.0%	▲ 1,000		
自主事業	総支出額	64,990	89,775	88,194	88,466	104,473	118.1%	106,164	
	総収入額	66,131	88,483	91,932	88,066	107,697	122.3%	106,164	
	収入—支出	1,141	▲ 1,292	3,738	▲ 400	3,224	-806.0%	0	
【全体】収入—支出	2,475	▲ 6,196	▲ 4,892	▲ 1,400	▲ 2,976	212.6%	▲ 1,000		
市	支出	総支出額	256,675	255,637	270,125	259,464	264,078	101.8%	246,597
		指定管理料	190,140	190,140	190,140	191,596	191,596	100.0%	175,150
		補助金 (※総務管理費除く)	52,285	63,570	64,985	67,868	65,482	96.5%	71,447
		補償金	14,250	1,927	15,000	0	7,000		0
		総収入額	1,469	1,526	954	954	954	100.0%	940
	収入	目的外使用料	1,469	1,526	954	954	954	100.0%	940
		〔うち、福祉文化会館〕	[27]	[27]	[27]	[27]	[27]		[13]
		〔うち、市民総合センター〕	[1442]	[1499]	[927]	[927]	[927]		[927]

4.利用者ニーズの把握と対応について

①利用者意見の把握状況

現指定管理者	R5年度				
	アンケート	実施時期	R5.4.1～R6.3.31	回収数/配布数	851/851 枚
	意見箱・メール	実施時期	R5.4.1～R6.3.31	件数	851(配布、意見箱合計) 件
	その他	実施時期	-	件数	- 件
現指定管理者	R4年度				
	アンケート	実施時期	R4.4.1～R5.3.31	回収数/配布数	857/857 枚
	意見箱・メール	実施時期	R4.4.1～R5.3.31	件数	857(配布、意見箱合計) 件
	その他	実施時期	-	件数	- 件
現指定管理者	R3年度				
	アンケート	実施時期	R3.4.1～R4.3.31	回収数/配布数	905/905 枚
	意見箱・メール	実施時期	R3.4.1～R4.3.31	件数	905(配布、意見箱合計) 件
	その他	実施時期	-	件数	- 件

②利用者からの主な意見・要望と対応

意見・要望	対応
スタンドマイクを使わせていただきましたがグリップが甘く止まりにくかったです。	グリップを確認し対応しました。
会議室の利用貸出が時間制になったのは良い。時間ちょうどに鍵貸出というのはおかしい。せめて5分～10分くらい前から貸出はお願いしたい。	スムーズにご利用いただける方法等について、対応を検討して参ります。
工事が長すぎます	騒音等の影響を最低限にとどめられるよう事前のお知らせを丁寧に行い、状況に応じて他の空き部屋を案内するなど対応を行いました。
FREEWi-Fiがあればよいかと思えます。	お部屋を借りていただいている方へwi-fiルーターの貸出を行っております。

③アンケート実施結果

室内の広さや清掃状況について								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
1	現指定管理者 R5	842	596 71%	234 28%	7 1%	5 1%			
	現指定管理者 R4	850	666 78%	172 20%	10 1%	2 0%			
	現指定管理者 R3	893	748 84%	132 15%	11 1%	2 0%			
室内の設備や貸出機材について								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
2	現指定管理者 R5	838	582 69%	234 28%	16 2%	6 1%			
	現指定管理者 R4	847	641 76%	180 21%	23 3%	3 0%			
	現指定管理者 R3	884	721 82%	152 17%	9 1%	2 0%			
照明及び空調設備について								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
3	現指定管理者 R5	840	583 69%	215 26%	30 4%	12 1%			
	現指定管理者 R4	849	637 75%	184 22%	23 3%	5 1%			
	現指定管理者 R3	895	709 79%	158 18%	23 3%	5 1%			
事務職員・ホールスタッフの対応について								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
4	現指定管理者 R5	840	636 76%	186 22%	13 2%	5 1%			
	現指定管理者 R4	850	704 83%	138 16%	5 1%	3 0%			
	現指定管理者 R3	893	750 84%	126 14%	10 1%	7 1%			
施設全体の総合的な印象について								回答割合推移	
	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満			
			回答数	回答数	回答数	回答数			
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合			
5	現指定管理者 R5	842	613 73%	209 25%	15 2%	5 1%			
	現指定管理者 R4	850	656 77%	176 21%	15 2%	3 0%			
	現指定管理者 R3	894	715 80%	164 18%	10 1%	5 1%			

5.運営状況について

①施設管理運営状況

S:達成すべき水準を大きく上回った
 A:達成すべき水準を達成した
 B:達成すべき水準を下回った

施設管理について						
1	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	計画書の作成・提出について	必要事項を漏れなく記載し、年度計画書を10月末日までに、市へ提出する。	自己評価	A	所見	
点検時期	市評価		A	所見		
毎年11月						
点検方法 書類確認						
2	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	報告書の作成・提出について	必要事項を漏れなく記載し、定期報告書は月末20日以内、事業報告書は年度末60日以内に、市へ提出する。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	月次・年度末					
点検方法 書類確認						
3	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	文書の管理について	収支に関する帳票、記録その他文書について、破棄されることなく、他の業務に関する文書と分けて保存されている。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	四半期ごと					
点検方法 現地確認						
4	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	利用許可について	施設設置条例に基づき、適切な料金区分の適用など、適正な利用許可を行う。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	月次					
点検方法 書類確認						
5	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	会計事務について	利用料金等の会計事務について、透明性を確保し、適切な処理が行われている。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	月次					
点検方法 書類確認						
6	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	人員配置について	仕様及び提案内容で定めるとおりの配置となっている。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	月次					
点検方法 書類確認						

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
7	研修の実施について	人権研修及び窓口対応研修を受講させる。中途採用の職員へは、個別に研修を行う。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	年度末				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
8	設備の維持管理について	舞台装置など設備の保守点検を定期的に行うなど、仕様で定める維持管理について適切に実施しており、不備が見つかった場合に速やかに対応を行っている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	随時				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
9	清掃・衛生管理について	衛生面の維持管理のため適切に清掃を行うなど、仕様で定める清掃について適切に実施しており、記録をつけている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
10	第三者への業務委託について	第三者への委託について、市の承認を得ているとともに、業者選考は、経費節減やサービス向上に配慮した方法で選考されている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
11	警備体制について	利用時間帯には警備員を常駐させ、巡回を行い、また施設の開錠・施錠を確認しに、業務終了後には施錠確認を記録する。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
12	緊急時対策、安全管理について①	緊急時対策に関するマニュアル及び緊急時連絡網を整備し、職員周知の取組を行っている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
13	緊急時対策、安全管理について②	緊急時の対応に関する訓練を実施している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
14	備品の管理について	備品台帳を整備しており、備品の状況を明確に示している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	B	所見 既に廃棄した備品について、反映がされていないものがあつた。
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
15	関係法令の順守について	市関係条例等を遵守している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	随時				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
16	労働関係法令の遵守について	労働関係法令セルフチェックシートの該当箇所について、全て満たしている。また、再委託をしている場合には再委託先の労働関係法令の順守を確認している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	年度末				
	点検方法				
ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
17	前指定管理期間からの継続雇用について	継続雇用された者が、不当な理由等で解雇されず、引続き雇用されている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	年度末				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
18	就職困難者の雇用について	選定時に報告があつた以上の雇用数を維持しているとともに、障害者雇用については、法定雇用率を遵守している。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	年度末				
	点検方法				
書類確認					

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
19	個人情報の保護について①	利用者個人情報を保護するための、施錠やセキュリティに関する取組が実施されている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
20	個人情報の保護について②	個人情報取扱指針等の整備がされており、内容について職員へ周知が図り、適切に取扱われている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
現地確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
21	人権尊重について	団体における人権尊重の考え方について、施設において特に配慮すべき人権について、職員が理解し、適切な対応が行われている。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
22	環境への配慮について	環境物品の調達及び利用者への環境啓発の実績がある。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
23	業務進捗状況の協議について	施設の利用状況等、業務の実施状況について、協議を行う。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	四半期ごと				
	点検方法				
ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
24	市民ニーズの把握について	アンケートや窓口等での意見を集約し、今後の施設管理に活用する。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	随時				
	点検方法				
ヒアリング					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
25	周知について	施設の利用促進のため、ホームページやSNSを活用を積極的に推進する。	自己評価	A	所見
	点検時期		市評価	A	所見
	随時				
	点検方法				
その他					

②指定管理事業・自主事業等の評価

指標		仕様書、計画書等で定める実施内容 (達成すべき水準)	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
指定管理事業	施設及び附属設備の使用に関する事業	施設及び附属設備使用の受付、許可は、公の施設としての公平性、公益性に配慮しつつ行う。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	施設・設備等の維持管理事業	施設を適切に運営するために、日常的に施設の点検等を行うとともに、建築物、設備、備品等の不具合を発見した際には、速やかに市に報告を行う。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	その他施設の管理運営に関する事業	館内サービスの向上や危機管理体制の整備等、その他施設の管理運営に関する事業の実施に努める。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
自主事業	拠点施設における舞台芸術公演事業	質の高い芸術を創造・発信するとともに、地域の芸術文化活動と協働することにより、身近に芸術文化に触れ、享受できる鑑賞機会を提供する。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	芸術、芸術活動への興味と理解を深めるための学習・体験事業	講座、講習会等、自ら表現活動に参加し、またそのきっかけづくりとなるような学習や体験を重視した事業を開発し、実施する。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	芸術文化に関する情報の収集及び提供事業	芸術文化に関する情報や地域の芸術文化活動に関する情報を収集し、紙媒体での配付やSNS等を通じて情報発信に努める。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
指標		仕様書、計画書等で定める実施内容 (達成すべき水準)	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
その他提案内容等	市民サービスの向上	市民サービスの向上につながる業務を創意工夫して行い、利用者満足度の向上に努める。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	感染症対策について	「3密」の回避(密集、密接、密閉)など「新しい生活様式」を取り入れた管理運営を行う。	自己評価	A	所見	
			市評価	A	所見	
	-	-	自己評価		所見	
			市評価		所見	
-	-	自己評価		所見		
		市評価		所見		

6.全体評価

※を除き、4段階評価[S:特に優秀 A:良好 B:軽微な課題あり C:重大な問題あり]

評価項目		評価・所見				
個別評価	利用状況について	自己評価	A	所見	新型コロナウイルス感染症も5類に移行し貸室利用の増加が見込まれたが、外壁や再配置の工事による利用制限があり、利用の伸びが押さえられてしまった。3月から新たに供用開始した会議室では福祉文化会館の貸室終了を見込んで「お試し利用」もあり、定着に期待している。	
		市評価	A	所見	館内外での改修工事を開始したことにより、貸館業務に一定の影響を及ぼしたものの昨年度と同等の貸館実績となっており、概ね順調な利用水準を継続できている。	
	収支状況について ※A～C:3段階評価	自己評価	A	所見	光熱水費高騰による、当初想定になかった費用計上が生じ厳しい運営状況となったが、補助金・補償金等による補助や各経費の見直し圧縮を行った結果、赤字を回避することができた。	
		市評価	A	所見	光熱水費高騰が大きく影響し、想定以上の経費が生じたものの、経費削減の取組や補助金の活用等により大きな破綻なく経営を継続していた。	
	利用者ニーズの把握と対応について	自己評価	A	所見	アンケートや日々窓口での会話などから利用者ニーズの把握を行い、応じたサービスの提供を行っている。	
		市評価	A	所見	市民から寄せられる要望にも比較的早期に対応できており、安定した運営ができていた。	
	運営状況について	施設管理運営状況 ※A～C:3段階評価	自己評価	A	所見	協定書や公共施設保全方針に基づき適切な設備等の更新に市と共に取り組んでいる。
			市評価	A	所見	計画的な設備の更新を実施できており、軽微な修繕についても速やかに対応ができていることから安定した施設管理を行うことができています。
		指定管理事業・自主事業等の評価	自己評価	A	所見	自主事業については、地域の舞台芸術団体等の協働の取り組みを重ねた。
			市評価	A	所見	管理事業の運営については概ね安定していた。また、自主事業についても施設の様々な場所で広く展開しており、多様な公演を市民に提供していた。

6.全体評価

※を除き、4段階評価[S:特に優秀 A:良好 B:軽微な課題あり C:重大な問題あり]

評価項目	評価・所見		
総合評価 (施設設置目的の総合的な達成度)	自己評価	A	所見 新型コロナウイルス感染症が5類となり、さらなる利用増加を見込んでいたが、会議室の時間貸しが始まったこと、また秋からの改修工事による騒音や匂いに対する利用取りやめ等の影響もあり、利用及び収入減少となった。
	市評価	A	所見 施設の改修等、万全な状況での貸館業務が困難な時期も生じている中、利用者数も昨年度と同水準を維持していることから、概ね安定して運営ができています。経営についても昨今の光熱水費高騰の影響は大きいものの、経費の圧縮に努め、大きな破綻なく運営ができていたものと評価した。ただし、改修等の外的な要因が利用者減に影響している部分については、工事業者との打ち合わせや工事計画等の資料から事前に状況を把握した上で代替となる利用可能な貸室の確保および提案など、解消可能なものもあったと見受けられることから、次年度以降に改善を期待したい。